202211KeMCo

View Report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

KeMCo

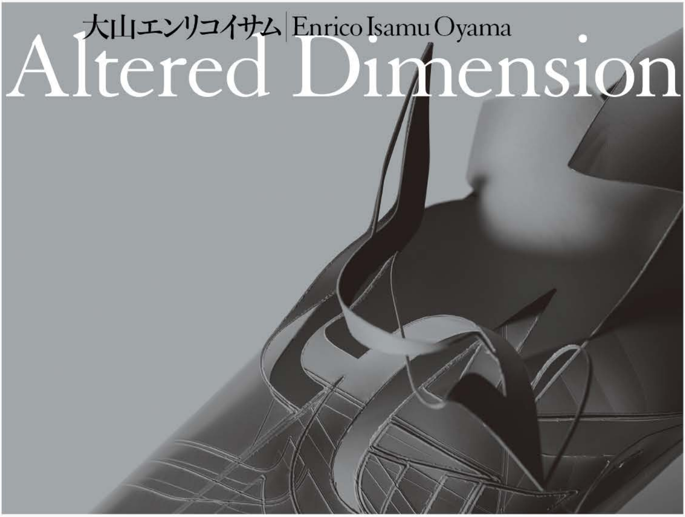
10月17日より、「大山エンリコイサム Altered Dimension」が開幕しました。KeMCoにとっては初の現代美術をテーマにした展覧会です。会期中には関連企画としてKeMCo StudI/Oの特別開室や、11月11日（金）には大山エンリコイサム氏をお迎えするトークイベントも開催します。

（画像）

FFIGURATI #437
ポリプロピレンシート、アルミパイプ、他
45 x 55 x 47 cm
2022
Artworks ©Enrico Isamu Oyama
Photo ©Katsura Muramatsu (Caloworks)

KeMCoの近況

【開催中】「大山エンリコイサム Altered Dimension」



KeMCoでは、現代美術展のシリーズ第１回目として、「大山エンリコイサム Altered Dimension」を開催中です。
都市のさまざまな空間に名前をかき残していくライティング文化に関心を寄せ、エアロゾル・ライティングの文字形体を抽象化し再解釈した独自のモティーフ「クイックターン・ストラクチャー（QTS）」を展開する美術家・大山エンリコイサム。
新作を中心とした本展覧会では、単純に切り分けることのできない次元のつらなりや、システムの乱れから生じる事象を通して、QTSの新たな造形を引き出そうとする大山の思考に迫ります。

展覧会「大山エンリコイサム Altered Dimension」

日時｜2022年10月17日（月）～12月16日（金）
月火水＝ 11:00–17:00、木金＝ 11:00–19:00　[土日祝休館]
※特別開館｜11月5日（土）、12月3日（土）11:00–18:00
※臨時休館｜11月7日（月）、12月5日（月）
場所｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
対象｜どなたでもご覧いただけます
費用｜無料

大山エンリコイサム　Altered Dimension

KeMCo StudI/O を特別開室しています

先月に続き、KeMCo StudI/Oを以下の日程で特別開室しています。《FFIGURATI #314》は特別開室日以外にもご覧いただけますが、特別開室日にはより間近でご覧いただけます。また、KeMCo StudI/Oの設備や活動を紹介いたします。

開室日時｜
11月4日（金）、5日（土）、8日（火）、11日（金）、14日（月）、17日（木）、
21日（月）、22日（火）、25日（金）、28日（月）
12月3日（土）、6日（火）、9日（金）、12日（月）、16日（金）

※開室日時・時間は変更になる可能性がありますのでご注意ください。変更がある場合はこちらのウェブサイトまたはSNSにて告知いたします。

トーク・イベント「大山エンリコイサム × 青木野枝」

企画展に関連して、大山エンリコイサム氏と、彫刻家・青木野枝氏のトークイベントを開催します。

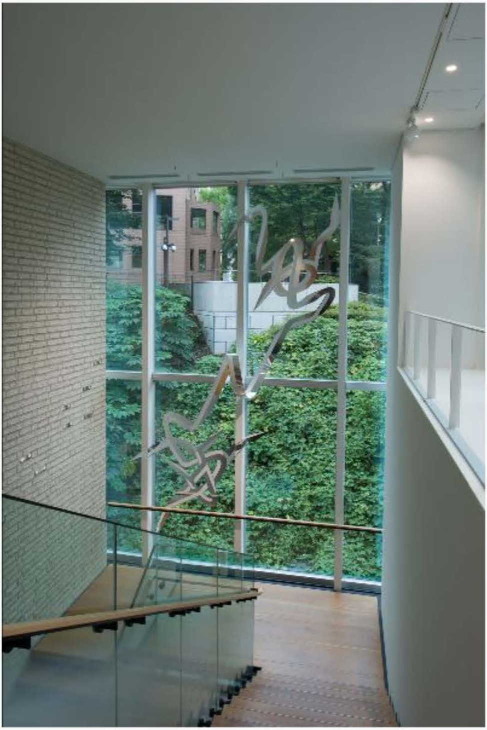
日時：2022年11月11日［金］ 19:00 – 20:30　[無料、事前予約制]
会場：慶應義塾大学三田キャンパス G-Lab（東館6階）

詳しくはこちら
お申し込みはこちら　要予約（定員：80名）

Feedback

トーク・イベント「大山エンリコイサム × 青木野枝」

展示室より、推しモノ #12



FFIGURATI #428
粘着性ビニールにインクジェット印刷／ガラス窓
580 x 400 x 80 cm
2022
Artworks ©Enrico Isamu Oyama
Photo ©Katsura Muramatsu (Caloworks)

　ただいま開催中の「大山エンリコイサム　Altered Dimension」展から1点をご紹介。このコーナーは「展示室より」というタイトルですが、今回の展示は複数フロアに分かれて

展開されています。《FFIGURATI #428》と名付けられた本作品は、KeMCoのなかでも開けた空間が印象的な、階段吹き抜けの大きな窓に設置されています。展示を準備していく中で作家自身が何度かKeMCoへ足を運び、そのコンセプトと空間を捉え、1日の光の動きや人の行き来、天候の影響といった周囲の環境要素が多いこの場所に作品を設置することを選びました。作家がこれまでアプローチしてきた素材・カッティングシートが用いられた作品ですが、今回はシートが貼られる窓面から一度、作家独自のモティーフであるクイックターン・ストラクチャー（QTS）が立ち上がり空中で一回転し、また平面へ戻っていきます。（突如現れた巨大な構造体であるQTSは、ある種、モノリスを彷彿とさせます...）鑑賞のタイミングでさまざまな表情を見せてくれる本作品。実はキャンパス側からもご覧いただくことができるのです！ぜひご来館の際には、キャンパス内にも立ち寄ってみてください。

長谷川　紫穂（KeMCo所員）

空き地

　このメールマガジンにも度々登場しているKeMCoM（学生スタッフ）。展覧会毎に、学生ならではの感性や視点から文化・芸術とファブリケーション（ものづくり）の新しい可能性を探求していますが、現在開催中の「大山エンリコイサム Altered Dimension」展では、目玉企画としてZINEを制作しております。…読者の皆様は、ZINEって知っていますか？私はKeMCoMに教わるまで知らなかったのですが、MAGAZINE（雑誌）のうしろ4文字をとってZINE [ジン]と呼称され、個人・団体が趣味で制作する雑誌のことを指すそうです。私の世代ですと、同人誌のほうが馴染みがあるのですが、どうも別物のようで。。。教わってからというもの、いろいろと気になって調べてみますと、意外にその歴史は長く、また、今まさに（何回目かの？）ZINEブームが来ているようです。
 そのブームに乗っかるわけではありませんが、KeMCoMが鋭意制作中のZINE、かなりユニーク且つ読み応えのある内容になっておりますので、ぜひご期待ください。現時点で2冊の刊行が決定しており、創刊準備号的な位置づけとなる00号では、KeMCoとKeMCoMを特集。創刊号となる01号では、大山エンリコイサム氏を大特集します（※）。

（※）00号の発行は11月上旬・01号は11月下旬を予定しております。配布数ならびに配布先は未定ですが、決まり次第、Twitter等で告知します。なお、KeMCoMのTwitterでは現在、制作奮闘記（？）もご覧いただけるので、併せてお楽しみください：
https://twitter.com/kemcomembers

宮北　剛己（KeMCo特任助教）

お知らせ

三田でご覧いただける展示

「アート・アーカイヴ資料展XXIII 槇文彦と慶應義塾 II：建築のあいだをデザインする」
10/3（月）–12/6（金）
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

「2022年度秋季企画展　福澤諭吉と『非暴力』 —学問のすゝめ150年—」
10/17（月）–12/17（土）[予約推奨]
主催・会場｜福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2022*年*12*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら